

背教者

ル - テル

Martin Luther

No. 3

九十五号

# 背教者ルーテル 第3回 九十五カ条

マニティンルーテルは  
勤勉な青年であった。

1500年

16歳のとき、エルフルト  
大学に入学

翌年、学士とわり

その翌年、20歳で

十七人中二番目という

好成绩で試験を

通過して

修士となった。

彼の前途は

洋々たるものと思われて

いたが――

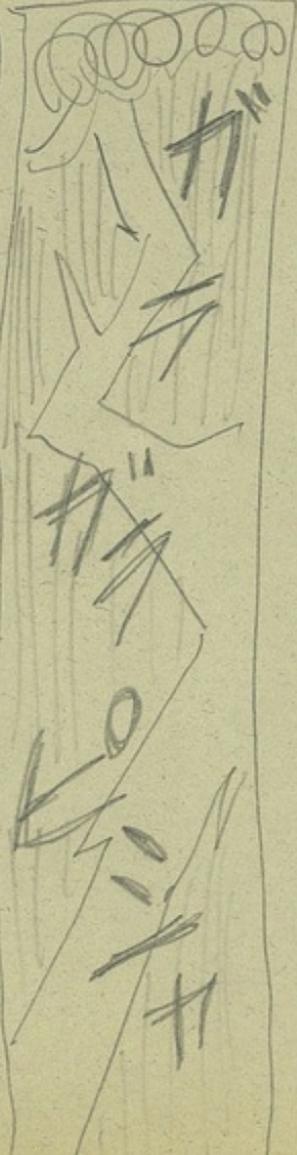
1505年

思いもかけぬ事件が  
下された。



7月2日、ルーテルはシュトットゲルン  
ハイム村のほす外を歩いていた。

そのとき――



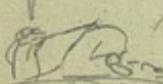
突然の落雷であった。  
ルーテルは天の怒杯に直面し、  
同時に極度感といらえらせた。  
彼は落雷に神のおろしをみた。

ガッ  
ガッ

聖フィニヤ

助けて下さい

!!



7月16日

ルーテルは学業がなげに  
大学をやめ

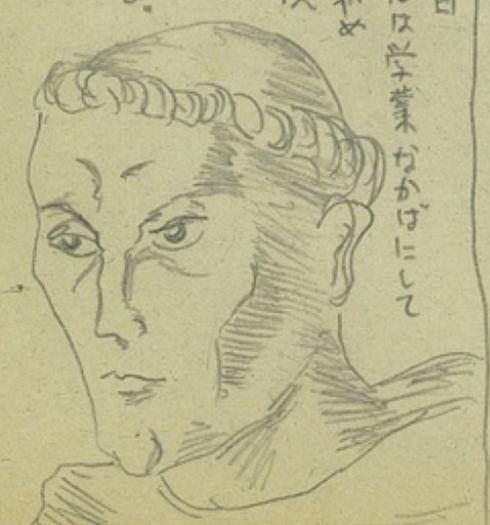
修道院

に入して

しきつ

らてぬ。

のてぬ。



ルーテルは24歳で司祭になった。

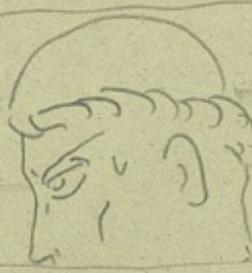


ルーテルははじめてミサを執行了る日に、修道院入りと反対して、父ハンス・ルーテルをまねいて、1507年5月2日のことである。

儀式の途中、ルーテルは突然不安と、恐怖と疑問を感じた。



なぜ罪深い人間が神にほげ同等の立場で語りかけよることができるのか？



このとき、ルーテルははじめて教会と、従来の神学に疑問をもったのである。

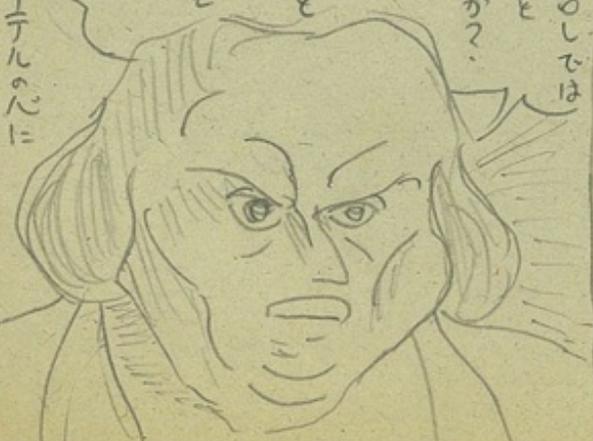
ミサのあと、ルーテルは父とたずねた。  
 父さん、なぜ私が修道士にならざるに決まらぬかと反対し、どうしてか？



おまえは神のおのしではなく、悪魔の声を聞いたのではないか？

おまえは、  
 聖母に  
 敬え、  
 とまわらぬことを  
 洗心し、  
 なるのか？

このミサはルーテルの心に大きな衝撃を与えた。ルーテルは生涯このミサを忘れることがなかった。

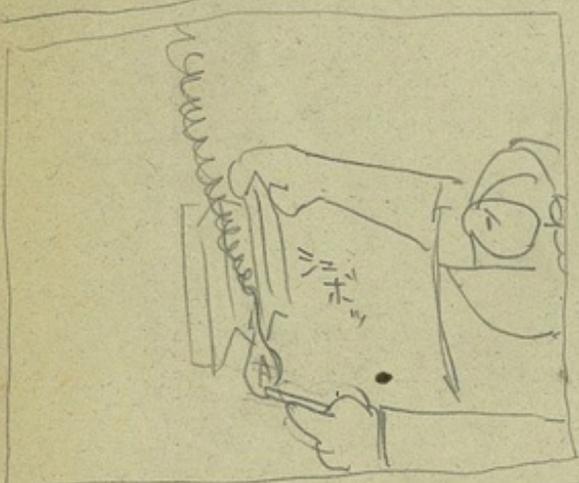


××××× 新聞のページであるー



サクソニア侯  
からの手紙の  
せいり次へ  
よ、内容  
×××××

×××××  
サクソニア侯  
カトリックを  
すためたの、  
強い。大規模な  
対教会運動を  
く、君の命は  
×××××



フリードリヒ侯  
は、前から  
現在のキリスト  
教世界を  
うらみ、あら  
×××××

ボオオオ

知っている

サクソニア  
は、カトリック  
神聖ローマで  
の、免罪符販売  
の禁止した地

君は

地球  
球体説  
とこの話を  
聞くと二つが  
あまからい

えっ、  
あま

コペルニクス  
的  
世界観  
とこの話の  
あま



教会のいわけを  
世間評板説と  
すうから  
対立している

とこの話が  
現在の  
技術の進歩  
が、どうも  
地球はやがて  
証明しつ  
あまからい

ステーション  
アムステルダム  
男は、今、世界  
一周の旅による準備  
をしているらしい  
もし地球球体説が  
証明されたら  
とこの話と関係する



教会の  
権威は  
ガタ落ちに  
なりますね

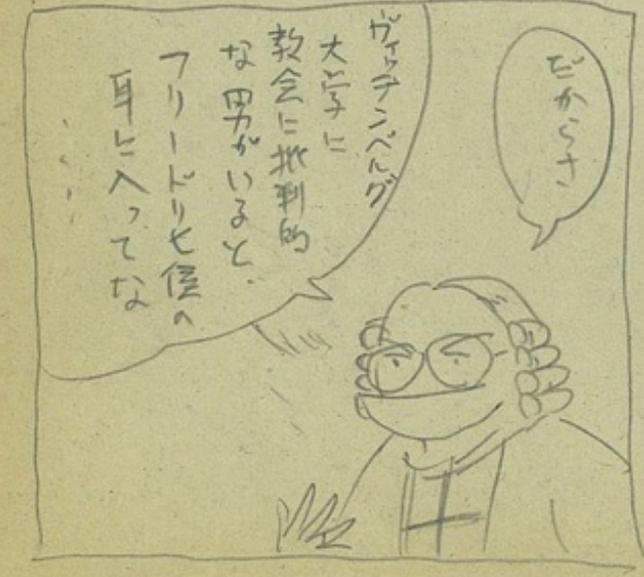
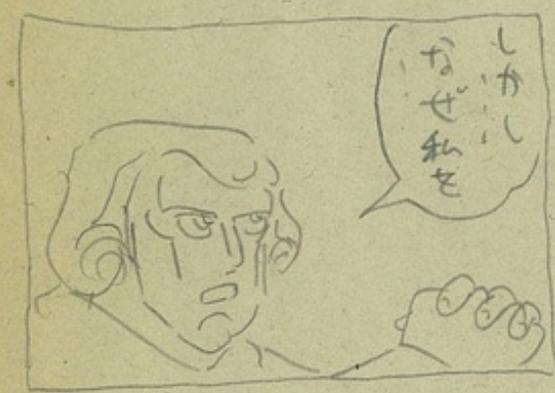
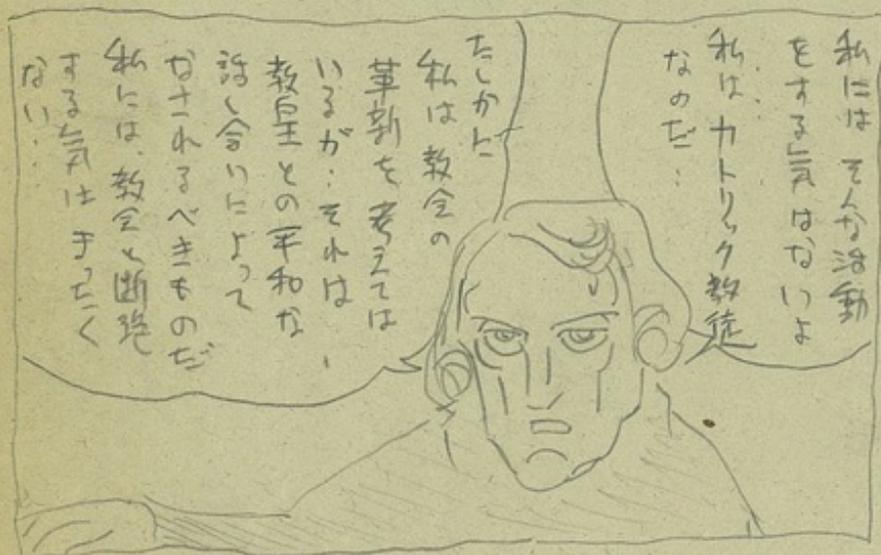
なるほどな



われらが  
フリードリヒと  
は、今なら  
このヨーロッパ  
を支配する  
カトリック勢力  
を打ち負か  
せるのは  
いいかと  
おぼろげ  
です。

スミでゼリ







フリードリヒ侯は  
対教会運動  
をふみすすむ  
あたり、  
ミニホルとなる  
人間がほしい  
のだ

かの  
ウイクリフ  
や  
フスの  
ような  
……

もう  
帰るのか  
？

……

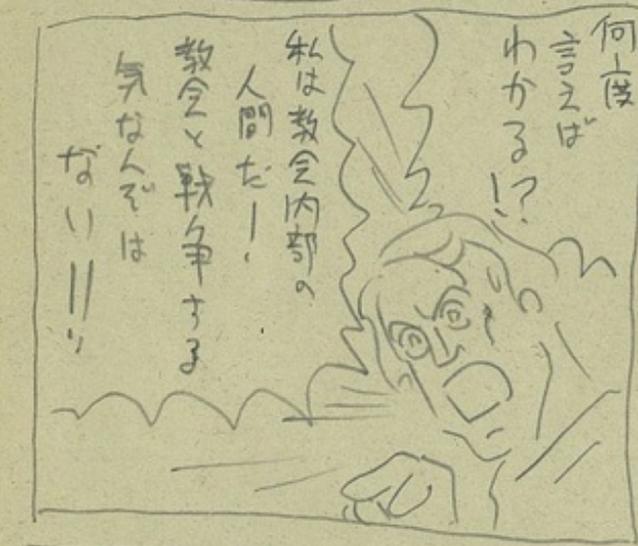


いい人ですが、  
本当に  
今の申し出も  
二とちって



まあ  
言うべき  
ことは  
言ったしな

もうか  
やくしたてず  
すまんか



何と  
言えは  
わかる!?  
私は教会内部の  
人間だー、  
教会と戦う事すま  
気なんぞは  
ないー



先生は  
現在の教会に  
不満があるんで  
しよー、本気で  
教会の刷新を  
する気があるの  
なら……

いずれ  
教会と対立  
するはず  
ですよ



フリードリヒ侯  
は先生も  
まもってくれ  
てくれる  
ですよ……  
フスは  
火刑になら  
ぬのです、  
教会に敵す  
たのです



どうゆう  
意味に  
？



544

今から

ゼニへ?

ベルリンへ

ブラントデンブルグ  
の境伯爵に

会いませぬ

ルーテンド

ごんせいは

おぼえておいてくれ

人々は本当に  
苦しんでいるのだ。  
カトリックの力は  
ヨーロッパ中の  
人々をがんにが  
しめこじている

人々は  
何が正しいのか  
わからなく  
なりつつある

「人々は  
反逆ののろし  
をまっしてさるべし」

自由は  
ゲルマニの木林  
より……

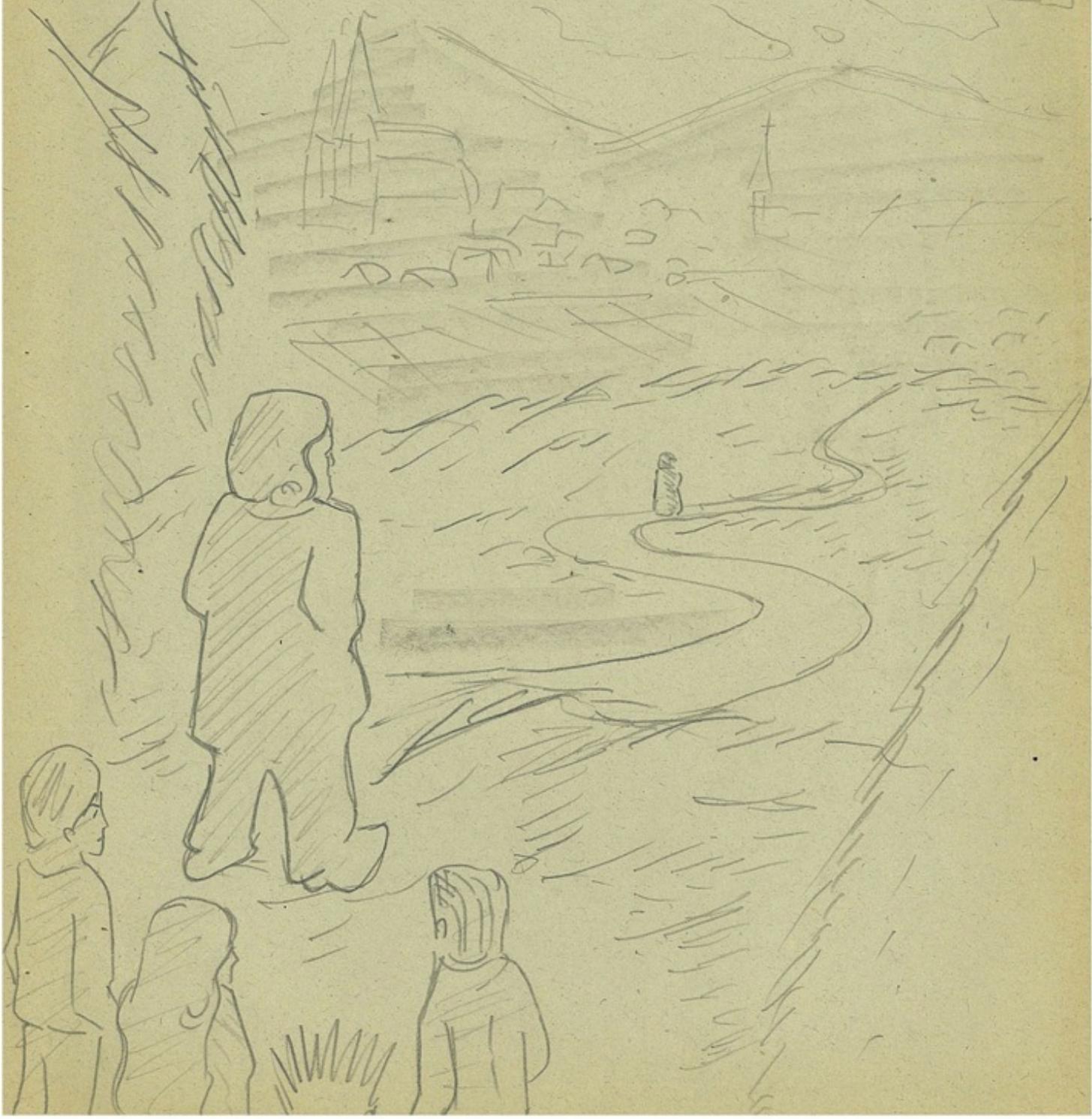
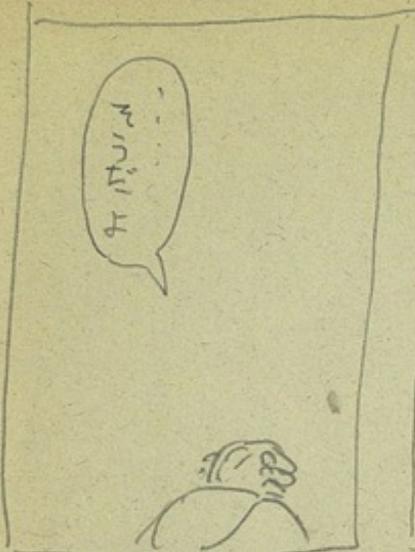
アバヨ

アマテラス

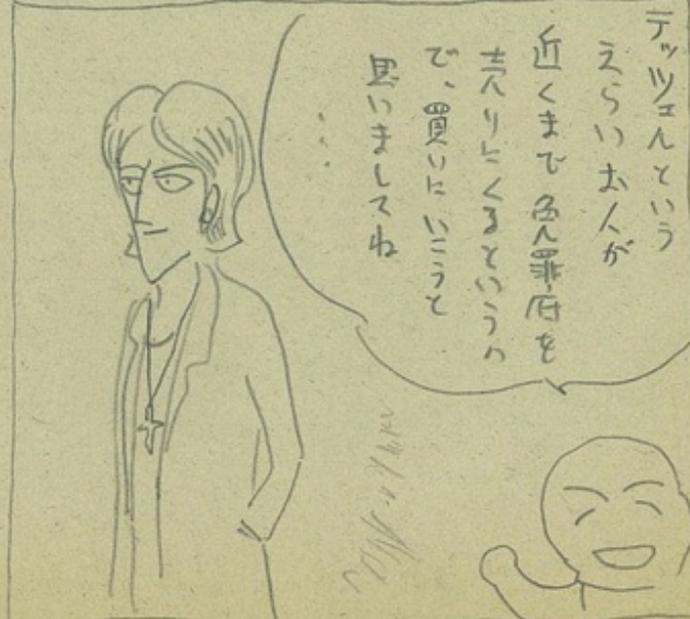
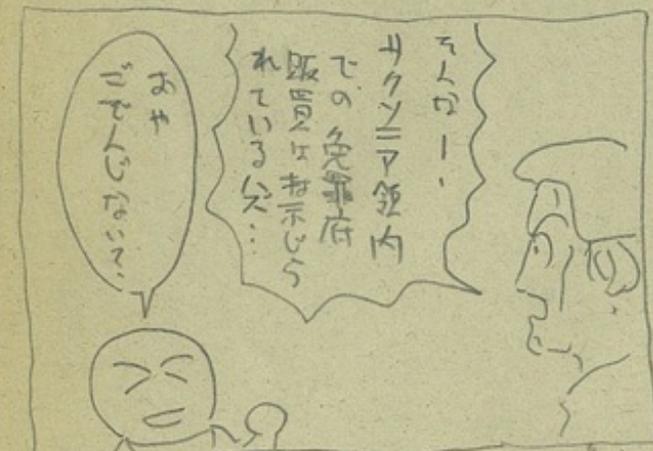
最後は

一ツの空を見て

くれ……



1517  
October



なんと、サクソニアではまたって  
いからというので、サクソニア  
オリエントまで近づいての  
多分罪府販売がはじまった。

ナーて

みなさん  
あちこちあり



この  
フィッセルマンの  
話を聞きな!!

おきえさん  
たちは  
このおふだ  
を賣つて  
さうして  
そのお金を  
この物に入れ  
るー

さうすると  
どうせ17



フィッセルマン  
いっしや  
おきえさんたちの  
魂は地獄から  
ときなな  
とこへ!!

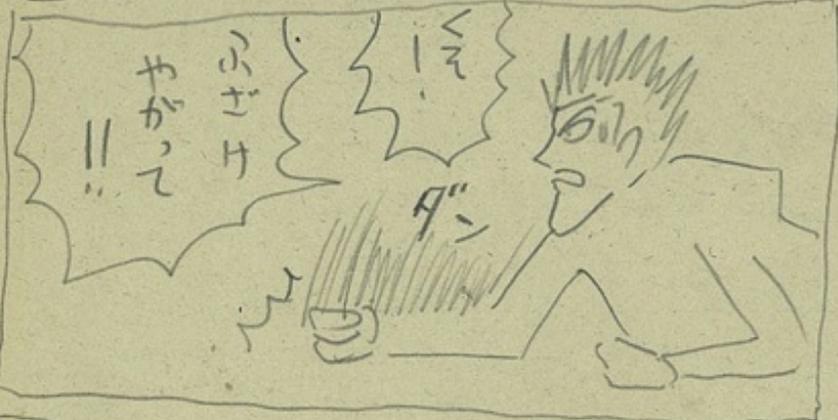


さうゆうめい  
あつて、さうさうさう!!

七選帝侯の一人  
マインツ大司教アルブレヒトは  
免罪府で  
得た金を  
フッカー家への  
借金返済に使って



ふざけ  
やがって  
!!



今までは  
死人のためを買って  
免罪府も有効  
なんじゃあつた  
よ……

いりも  
いかり死者  
まで救うとけ  
ムチャクチャ  
ですな  
もう……





時 1517年10月31日正午。



教会のやりかたをみるにみかねた  
マンティンルーテルは、ついに  
外部への活動を開始した。  
免罪符に関する意見書を  
ヴァンデルグレン教会の扉に掲示。

第21条：免罪符の擁護者が、人は法王の赦免によって  
あらゆる刑罪から免れ得る、というのは  
誤りである。

第27条：箱の中で貨幣が鳴るやいなや霊  
塊が煉獄を去るなどと説くこと  
は荒唐無稽である。

第36条：悔悛の實を有する基督者はすべ  
て免罪符を持たずとも、懲罪及び  
罪より全く解放されるべきである。

しめゆ

「九十五カ条の論題」

である。



これは、もともと大学内での  
討論を即行して作られた  
もので、全文ラテン語で書  
かれています。

しかし、この「九十五カ条」は  
ルーターのアイデアにちなみ、  
大きな波紋をよんでいく  
のである。

## 「背教者ルーテル」 vol.3 九十五カ条

<http://p.booklog.jp/book/31509>

著者：獣田由狼

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/kemonoda/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/31509>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/31509>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.